【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2004-255872(P2004-255872A)
【公開日】平成16年9月16日(2004.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2004-036
【出願番号】特願2004-34932(P2004-34932)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０４Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月8日(2007.2.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
連続型インクジェットプリントヘッドの多数のノズルの中の１個の欠陥ノズルから放出された全てのインクについて、印刷媒体上に印刷するために使用されないようにする方法であって、
欠陥ノズルから放出された全てのインクを偏向して印刷媒体に達することを防止し、
欠陥ノズルではないノズルから放出されたインクの少なくとも一部が前記印刷媒体に達するようにすることを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法であって、
連続型インクジェットプリントヘッドの多数のノズルの中の１個の欠陥ノズルから放出された全てのインクを回収して、後で欠陥ノズルではないノズルから放出するために再利用することを特徴とする方法。
【請求項３】
連続型インクジェットプリントヘッドの多数のノズルの中の１個の欠陥ノズルから放出された全てのインクについて、印刷媒体上に印刷するために使用されないようにする装置であって、
欠陥ノズルから放出された全てのインクを偏向して印刷媒体に達することを防止する手段と、
欠陥ノズルではないノズルから放出されたインクの少なくとも一部が前記印刷媒体に達するようにする手段と、
を有することを特徴とする装置。
【請求項４】
請求項３に記載の装置であって、
前記インクの少なくとも一部が前記印刷媒体に達するようにする手段は、欠陥でないノズルにおける連続したインクフィラメントに対してそれぞれが駆動可能であるフィラメント刺激源を含み、前記フィラメント刺激源は、特定の周波数で駆動されて、対応する速度で、前記インクフィラメントから分離したインク小滴を切断し、
前記インクを偏向して印刷媒体に達することを防止する手段は、欠陥ノズルにおける連続したインクフィラメントに対して駆動可能であるフィラメント刺激源を含み、前記フィ

ラメント刺激源は、欠陥でないノズルにおける連続したインクフィラメントに対するフィラメント刺激源に対する周波数よりも高い周波数で駆動されて、欠陥ノズルにおいて連続したインクフィラメントから得られるインク小滴が、欠陥でないノズルにおいて連続したインクフィラメントから得られるインク小滴より少ない量を有するように、欠陥でないノズルにおいて連続したインクフィラメントから分離したインク小滴を切断する速度よりも早い速度で、欠陥ノズルにおいて連続したインクフィラメントから分離したインク小滴を切断することを特徴とする装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】

本発明の一態様によれば、連続型インクジェットプリントヘッドの多数のノズルの中の１個の欠陥ノズルから放出された全てのインクについて、印刷媒体上に印刷するために使用されないようにする方法を提供する。通常、この方法は、欠陥ノズルから放出された全てのインクを偏向して印刷媒体に達することを防止し、欠陥ノズルではないノズルから放出されたインクの少なくとも一部が前記印刷媒体に達するようにする。